

「重すぎる」愛の南京錠 全国のスポット、歓迎と心配

篠原あゆみ 2015年12月1日18時29分

シェア 23 ツイート list 3 ブックマーク 3 メール 印刷



野間灯台にある南京錠専用のモニュメント＝愛知県美浜町

カップルが永遠の愛を誓って南京錠を柵や網に取り付ける――。いつの間にか世界中で定着したその「慣習」。お陰で南京錠が鈴なりにぶら下がっている観光地は少なくない。「訪れる人が増えた」と自治体は歓迎する。一方で、「重くて切れた」「景観を害する」と禁止する動きも。「重い愛」をどうすればいいのか……。

■カップル客が増加

愛知県の渥美半島にある田原市・恋路ヶ浜（こいじがはま）。太平洋に面した公園の一角に南京錠を付ける専用の支柱が立っている。この1年あまりで付けられた南京錠は約千個。

恋路ヶ浜は2006年、NPO法人・地域活性化支援センター（静岡市）に、プロポーズをするのにふさわしい場所「恋人の聖地」に認定された。以来、市が中心になって専用の支柱を設置するなどPRに力をいれてきた。昨年10月には地元の観光団体が「恋路ヶ浜で叶（かな）う恋」というキャッチコピーを書いたプレート付き特製南京錠「しあわせの鍵」を売店などで発売した。近くでレストランを営む男性は「シーズン問わず南京錠を付けに来てくれる。昨年に比べ、カップルの客だけで3割は増えた」と喜ぶ。市によると、関西方面から来る人が目立って増えたという。

昨年、クリスマスイブに限定デザイン

「しあわせの鍵 プレミアム」を発売したところ売り切れの店が続出し、今年7月に追加販売を始めた。

「大好き！」「ずっと一緒だよ」……。伊勢湾を望む愛知県美浜町にある野間灯台。海辺のモニュメントで鈴なりの南京錠はそんなメッセージでいっぱいだ。

11月中旬、30代の自営業の男性と女性会社員は埼玉から大阪への旅行の帰りに南京錠を付けるために立ち寄った。「ここで書いた願いはかなうと聞きました。少し遠回りになりましたがそれでも来たいと思って……」と照れながら話した。

灯台を囲むフェンスに南京錠が付けられるようになって20年以上。「老舗」とあって、この1年間で回収した南京錠は600キロ、推定で2千個に達する。町の担当者によると、旅行雑誌の特集で恋愛スポットとして取り上げられることが多いといい、「一緒に町の観光PRもしやすい」と話している。

■いわれは諸説

南京錠が付けられる場所は全国に広がっている。「恋人の聖地」に認定された所や眺めの良い所が多い。発祥、いわれについては諸説ある。

災害へ
大災害
る連載

タ
ハ
ス

PR 注



週替わ
朝日新

NASA
無重力

モデル
ラグジ

大手不
先進の

俳優の
世界を

朝日新

ツイー

a
社会
パラス
レンジ
IPC